鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）発行

伊集院保健所感染症情報

2026年第16週（令和8年4月13日～令和8年4月19日）

【お問い合わせ先】　〒899-2501　鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1　鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）
TEL（099）273-2332 ／ FAX　（099）272-5674 ／　E-mail　kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp
鹿児島地域振興局　URL　http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html

定点把握感染症

管内流行発生注意報発令！：水痘

管内流行発生警報発令中：咽頭結膜熱

定点医療機関【ARI２（インフルエンザ・COVID）、小児科１、基幹定点１】

疾　患　名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第13週	第14週	第15週	第16週	先週からの増減	第15週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	63.00	59.00	67.00	67.00	→	41.82	↗
インフルエンザ	30	10	10	**8.50**	5.00	0.50	0.00	↘	0.77	↘
COVID-19	–	–	–	0.50	0.00	0.00	0.00	→	0.26	→
咽頭結膜熱	3	1	–	1.00	1.00	**3.00**	**3.00**	→	1.29	↗
Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	–	5.00	**6.00**	3.00	7.00	↗	2.29	↗
感染性胃腸炎	20	12	–	0.00	0.00	0.00	0.00	→	3.55	↘
水痘	2	1	1	**1.00**	0.00	0.00	**1.00**	↗	0.32	↗
手足口病	5	2	–	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.35	↗
伝染性紅斑	2	1	–	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.26	↗
突発性発しん	–	–	–	0.00	0.00	1.00	0.00	↘	0.42	↗
ヘルパンギーナ	6	2	–	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.06	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	↘
ＲＳウイルス感染症	–	–	–	3.00	3.00	2.00	1.00	↘	0.90	↘

※警報域　：太文字で赤色の塗りつぶし、　注意報域　：太文字で黄色の塗りつぶし

TOPIC　　麻しんに注意しましょう。

麻しん（はしか）とは

　麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症で、その感染力は非常に強く、免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ 100%発症し、一度感染すると一生免疫が持続すると言われています

＜主な症状＞

　感染すると約 10 日後に発熱や咳、鼻水、目の充血といった風邪のような症状が現れ 2~3 日熱が続いた後、39 度以上の高熱と発しんが出現します。

　肺炎や中耳炎を合併しやすく、1、000 人に 1 人程度の割合で脳炎が発症します。死亡する割合も、先進国であっても 1、000 人に 1 人と言われています。

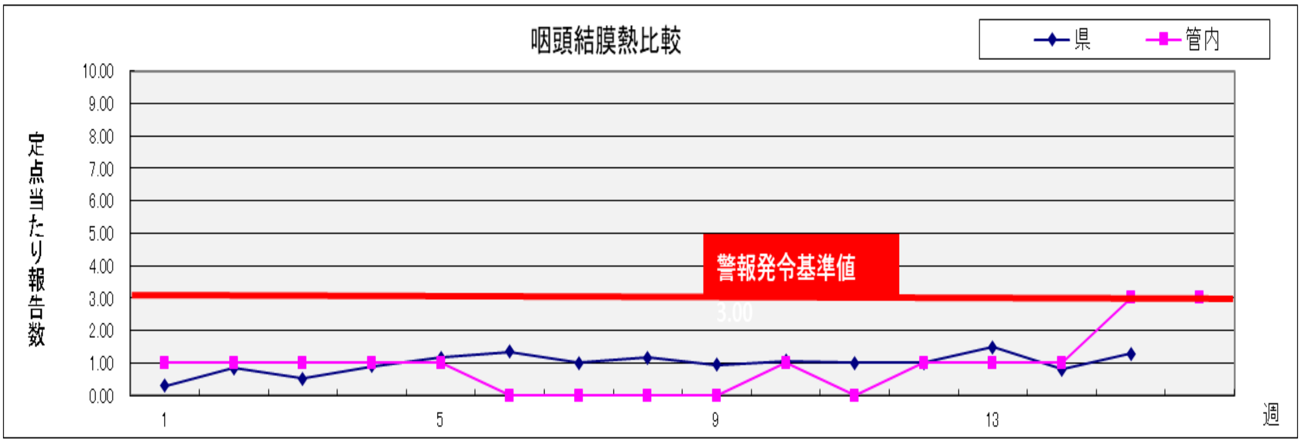
県民の皆様への注意喚起

①麻しんを疑う症状が現れた場合は、必ず事前に医療機関へ連絡の上、受診してください。受診の際はマスクを着用し、公共交通機関の利用を控えてください。

②麻しんの予防には、予防接種が最も有効な予防法の１つです。
麻しんの定期予防接種（第１期：１歳児、第２期：小学校就学前の１年間）をまだ受けてない方は、かかりつけ医に相談し、早めに予防接種を受けてください。

注意すべき感染症

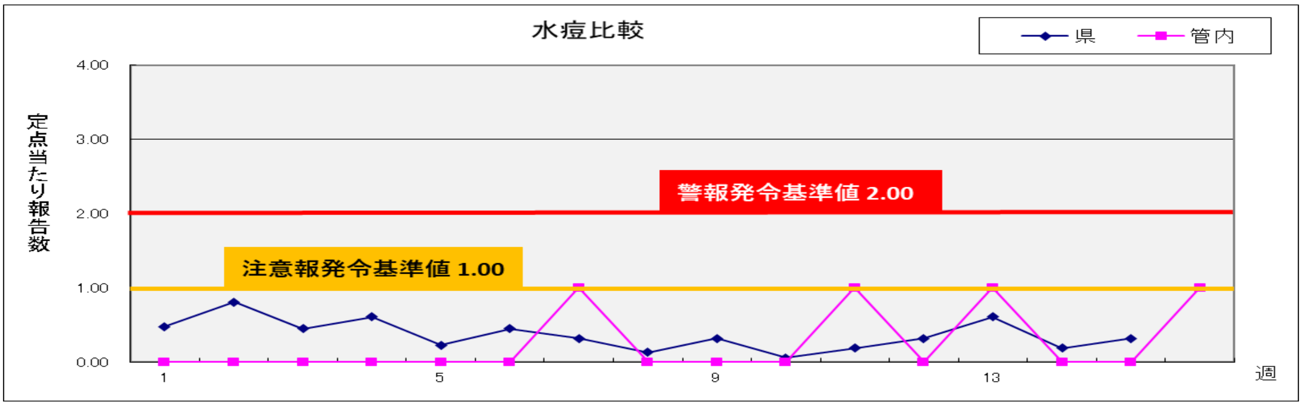
・ 咽頭結膜熱（流行発生警報発令中）



第 16 週の伊集院保健所管内における咽頭結膜熱の報告数は、３人でした。年齢別では、１歳（２人）、３歳（１人）でした。

咽頭結膜熱は、小児の急性ウイルス性感染症で、飛沫感染、あるいは手指を介した接触感染で拡大します。感染予防策としては、タオルの共用はせず、感染者と密接な接触を避け、流水と石けんによる手洗い、うがいを励行しましょう。

・水痘（流行発生注意報発令！）



第 16 週の伊集院保健所管内における水痘の報告数は、１人でした。年齢別では、４歳（１人）でした。

水痘とは、いわゆる「みずぼうそう」のことで、これは水痘帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる発疹性の病気です。感染から２週間程度の潜伏期間を経て発疹が現れます。臨床経過は一般に軽症で、倦怠感、掻痒感、38℃前後の発熱が 2～3日間続く程度です。典型的な症例では、発疹は紅斑（皮膚の表面が赤くなること）から始まり、水疱（水ぶくれ）を経て痂皮化（かさぶたになること）して治癒します。

感染経路には、空気感染や飛沫感染、水疱の内容物との接触による接触感染などがあり、発疹が出現する1～2日前からすべての水疱が痂皮化するまで感染力があります。

予防方法としてはワクチン接種が推奨されています。周囲に患者がいる場合は、患者との接触を避け、手洗いを励行しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況４/13～４/19（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週は、インフルエンザが２人（型不明２人）、水痘が１人、人感染性胃腸炎が１人報告されています。

疾患名／自治体名	インフルエンザ	水痘（みずぼうそう）	感染性胃腸炎
日置市	０	０	０
いちき串木野市	２	０	１
三島村	０	０	０
十島村	０	１	０
計	２	１	１